

平成 24 年（2012 年）2 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（4 日目）

平成 24 年 3 月 5 日（月）

1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	安慶田 光男 (自民・無所属・改革の会)	NAHAマラソンについて	<p>NAHAマラソンは、昭和 60 年の第 1 回大会を始めに、去年まで 27 回の回数を重ね、その間、大会応募者は延べ人数で約 56 万人となり、そのうち、県外から約 9 万 4 千人、海外から約 4 千人の人々がランナーとして来県されている。応募者 56 万人の内、完走者は約 34 万人になり、完走率は 70 パーセントになっている</p> <p>NAHAマラソンが市民や県民に親しまれ、大会ごとに盛大になっており、観光立県沖縄へ一役買っていることは、ご承知のとおりである。また、NAHAマラソンは那覇市の三大イベントとして定着しており、市民県民に大きな夢と限りない喜びを与え、市長の目指す「良い暮らしより、楽しい暮らし」のキャッチフレーズにもマッチしている。そこで何う</p> <p>(1) 日本陸上競技連盟の公認コースでありながら、なぜ公認大会になっていないのか</p> <p>(2) 公認大会にするにはどのような手続きが必要か</p> <p>(3) 第 26 回大会より、定員制を設けた理由は何か</p> <p>(4) 第 1 回大会から第 27 回大会まで連続して完走している人々を表彰したらどうか。何人程いるか</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成24年3月5日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	玉城 彰 (民主党)	<p>1 波の上ビーチの指定管理のあり方について</p> <p>2 福祉施設の利用について</p> <p>3 道路行政について</p> <p>4 公園行政について</p>	<p>波の上ビーチは、那覇港管理組合の指定区域である。管理は、平成21年4月1日から平成24年3月31日までの期間、指定管理者制度により那覇市観光協会に管理委託している しかし、管理委託費の実態は那覇市から那覇市観光協会に支出している補助金を充用している 本員はそのような指定管理のあり方は、市民にとっても分かりにくく、到底理解されないということで、平成21年2月定例会と12月定例会で改善を求めてきたが、当局の検討状況を伺う</p> <p>平成21年度から条例の一部を改正して那覇市老人福祉センター及び老人憩いの家の有効活用を図る観点から地域や市民に開放された 平成21年度から平成23年度までの施設ごとの利用状況について伺う</p> <p>沖縄都市モノレールの浦添市前田への延長計画に伴う市道石嶺15号の拡幅整備事業について伺う</p> <p>久場川公園の進捗状況について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成24年3月5日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	高良正幸 (自民党新風会)	<p>1 公園行政について</p> <p>2 文化行政について</p>	<p>小祿森口公園について 小祿地域における津波避難地域の一つでもある森口公園事業の進捗状況と、今後の取り組みを伺う</p> <p>(1) パレット市民劇場について</p> <p>現在の利用状況、稼働率を伺う</p> <p>パレット市民劇場のバリアフリー化について伺う</p> <p>ピアノ楽器の使用年数と状態について伺う</p> <p>(2) 那覇市文化協会について</p> <p>新庁舎の完成に伴い、銘苅庁舎の跡利用として文化協会の事務所の拡張、または、より広い場所への移転を考慮しているのか伺う</p> <p>第4回なは市民芸術展の成果と、今後の実施計画を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成24年3月5日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	古堅茂治 (日本共産党)	<p>1 教育相談・メンタルヘルスカウンセリング事業について</p> <p>2 沖縄戦で焼失・破壊された中城御殿・御茶屋御殿の復元について</p> <p>3 県の文化発信交流拠点施設（沖縄郷土芸能会館・仮称）を複合施設としての誘致について</p>	<p>メンタルヘルスカウンセリングは、心因性・発達障がい等を要因とする不登校などの教育相談で大きな役割を發揮している</p> <p>(1) 相談支援件数、特徴を問う</p> <p>(2) 臨床心理士の役割・必要性を問う</p> <p>(1) 中城御殿（旧県立博物館跡）は、琉球王国時代、琉球王の世継ぎが住む邸宅で、廃藩置県時の首里城明け渡し後、琉球国王が中城御殿へ退去してその本邸となり、尚侯爵家の東京移住後は沖縄における尚家本邸となった。世界遺産首里城の整備の一環として、復元に向けた県の中城御殿跡地整備検討委員会の審議内容とスケジュールを問う</p> <p>(2) 中城御殿の復元を実現させ、本市が尚家22代当主尚裕氏から寄贈を受けて所有する「国宝 琉球国王尚家関係資料」を中城御殿で常時公開できるようにすべきと考えるが、見解を問う</p> <p>(3) 2006年12月25日、本市議会は、琉球王国の迎賓館でかつ文化の殿堂である御茶屋御殿について、国の責務において早期の復元・整備を求める意見書を全会一致で採択。2007年7月に設置された、沖縄総合事務局、沖縄県、那覇市の担当者で構成する御茶屋御殿ワーキンググループでの取り組みを問う</p> <p>県は、2009年3月に閉館した沖縄県立郷土劇場に代わる新たな文化発信交流拠点の整備（一括交付金の活用が見込める）についての検討を開始している。同劇場と郷土芸能劇場「沖映」が存在していた本市にこそ、文化発信交流拠点施設（沖縄郷土芸能会館・仮称）を観光会館などとの複合施設として誘致すべきではないか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 交通行政について	<p>芥川賞作家・大城立裕氏の短編集『普天間よ』のなかに「首里城下町線」が収められている</p> <p>(1) 地域コミュニティバス「首里城下町線」の運行・利用状況と成功理由を問う</p> <p>(2) 沖縄県総合福祉センターが隣接している市道・石嶺福祉センター線が開通予定である。首里城下町線のコースを変更するか、新路線を確保し、車いすが利用できる障がい者・高齢者にやさしい低床バスを運行させるべきではないか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成24年3月5日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	與儀 實司 (自民・無所属・改革の会)	少子化対策について	<p>今、少子高齢化が進行する中で多くの自治体で将来に向けた取り組みとして、若者の定着と、後継者の育成を念頭にもろもろの政策が実施されている。未婚の男女が増えている中で、那覇市も例外ではないと思う。以下について伺う</p> <p>(1) 市内に25～35歳の独身は何人いるか(男女別)</p> <p>(2) 本市職員に独身は何人いるか</p> <p>(3) 新婚家庭に対する優遇的政策はあるか</p> <p>(4) 出会いの場を本市の主導で検討できないか</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成24年3月5日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	平良 識子 (社社連合)	<p>1 第32軍司令部壕問題について</p> <p>2 男女平等推進行政について</p> <p>3 那覇市療育センターについて</p>	<p>第32軍司令部壕は、沖縄戦における軍隊と住民の関係を考える重要な那覇市の戦争遺跡である</p> <p>(1) 県は第32軍司令部壕の説明版において、沖縄戦の実相をあらわす「住民虐殺」と「慰安婦」を記述削除したと報道されている。この行為は、史実の歪曲であると言わざるを得ない。沖縄が、沖縄戦の史実を伝える努力をし続けなければ、歴史評価はいつだって支配者視点へと変容されるだろう 那覇市は、この行為をどう評価しているのか。市長の見解を伺う</p> <p>(2) 第32軍司令部壕は、戦争文化財として重要な史跡であり、市は積極的に文化財指定に向けて取り組むべきである。見解を伺う</p> <p>15周年を迎える「なは女性センター」は、沖縄の男女共同参画行政の先進的役割を果たしている。今後ますます、誰もが社会参画をしながら子育てや介護をしやすい社会「ワークライフバランス」の実現に向けて、センターのさらなる充実体制の強化が重要であり、センター長を設置し対応すべきである。見解を伺う</p> <p>今年開設30周年を迎える那覇市療育センターは、障がい児と親を支援する拠点として県内でも先進的役割を果たしている。他方で、施設規模の課題等により、「現在の施設と同規模の施設がもう1つ必要になる」と、昨年2月定例会の部長答弁で明らかとなった。以下、伺う</p> <p>(1) 療育センターの支援を要すると推定される児童数及び現在の受け入れ態勢について</p> <p>(2) 待機児童の解消と、対象となる子と親が通いやすい環境を整えるためにも、分園設置をぜひ実現してほしい。計画を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 新庁舎における通信整備について</p> <p>5 若者の就労支援について</p> <p>6 久茂地地域のまちづくりについて</p>	<p>施政方針において「高速ネットワークに対応した電話機を多数導入する」とある。以下、伺う</p> <p>(1) どのような機種を導入する予定なのか</p> <p>(2) 災害及び機器トラブルのバックアップ体制はどうなっているのか</p> <p>(3) 導入コスト及びランニングコストは、適正に評価されたのか</p> <p>経済産業省では、「ジョブカフェスタイル」の若者就職支援を全国的に展開している。那覇市でも一括交付金を活用し、取り組むよう提案する。見解を伺う</p> <p>久茂地地域は、歴史、文化、そして新しいまちが融合する那覇市でも特徴ある地域である。現在、本市が進めている久茂地小学校統廃合及び久茂地公民館閉鎖と解体により、当局は、地域の声を活かしたいかなるまちづくりを構想していくのか、問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成24年3月5日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	宮平のり子 (社社連合)	電磁波について	<p>携帯電話や無線LANは私たちの生活に今や、なくてはならないものになっている。しかしその反面、携帯電話中継基地局の乱立により、健康被害が増加している</p> <p>(1) 那覇市内に携帯基地局は何基あるか</p> <p>(2) 幼稚園、小中学校、児童館、公民館、病院、介護施設などから300メートル以内に各何基あるか</p> <p>(3) 携帯基地局の設置はどのような手続きで設置されるのか</p> <p>(4) 電磁波に関する苦情、相談がこれまであったか</p> <p>(5) 健康被害の相談があったか</p> <p>(6) 苦情相談を受ける担当部署はどこか</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成24年3月5日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	桑江豊 (公明党)	<p>1 選挙行政について</p> <p>2 復興支援について</p>	<p>期日前投票所増設へ向けての取り組みの進捗について、以下伺う</p> <p>(1) 期日前投票所増設検討委員会から最終報告を受けたのか</p> <p>(2) 最終報告を受けての選挙管理委員会の対応</p> <p>(3) 次年度に実施する選挙</p> <p>仲井真知事の東日本大震災がれき受け入れを検討する発言に対する市長の見解を伺う</p> <p>(1) 受け入れる際の課題</p> <p>(2) 安全性の確認と住民合意</p> <p>(3) 受け入れの可能性</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成24年3月5日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	山城 誠司 (自民党新風会)	<p>1 那覇市原付オリジナルプレートについて</p> <p>2 経済行政について</p> <p>3 不発弾処理について</p>	<p>市町村が発行する課税標識、これは自治体が車両所有者に課税する軽自動車税の標識である。白や黄色、ピンク色をしており、一部台形のものもあるようだが、一般的には長方形をしている</p> <p>しかし、自治体が課税する125cc以下のバイクなどのナンバープレートについては、形状や図柄に明確な規定がない。運転危険が及ばない範囲であれば、形状は変更しても問題がないとされている</p> <p>そういったことから、司馬遼太郎氏の小説「坂の上の雲」の舞台である松山市の雲型ナンバープレートを2007年7月から取り入れたことがその先駆けとなり、現在全国の自治体に課税標識の変更が広がりを見せている</p> <p>沖縄県内においては、南城市、沖縄市がオリジナルナンバープレート、キャラクターを採用している</p> <p>このような中、那覇市でもオリジナルナンバープレートを導入し、国際都市那覇をPRし、守礼門、首里城などをデザインし、キャラクターに「シーサー」を採用してはどうか伺う</p> <p>(1) 本市における雇用及び産業振興の取り組みについて伺う</p> <p>(2) これまでの企業誘致実績、企業誘致活動及び今後の取り組みについて伺う</p> <p>首里高校における不発弾処理について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>